

身近な発見！

オオムラサキとオオチャバネセセリ

横山謙二



清水区西里 黒川流域で見られたオオムラサキ

今年は、P3-4でご紹介しましたナウマンゾウ切歯の発見もあり、6月から大変忙しい毎日でした。そんな中、私も夏に小さな発見をしましたのでご報告します。

私はオオムラサキを見たことがなかったので、オオムラサキを見に8月4日に、山梨県北杜市のオオムラサキセンターに行ってきました。オオムラサキセンターでは、オオムラサキをはじめ、カブトムシ、クロカナブンなども見れ、たいへん満足した一日でした。ところが、翌週の土曜、毎週のように通っている身近な興津川支流黒川流域のクヌギの木を見ると、なんとオオムラサキ♀が、カナブンとともに、吸蜜しているではありませんか！黒川流域でのオオムラサキの記録は少なく、ここ何年も通っている私は初めて見ました。わざわざ、遠いオオムラサキセンターまでいかなくとも、こんなに身近で見れるとは思いつつも、静岡市での少し珍しい記録に少し興奮しました。次の日も同じ場所で見れ、さらに驚かされました。実は、今まで私が見ていなかっただけで、毎年この時期に、この場所で発生していたのでは？

その後も、黒川に通い続けましたが、オオ

ムラサキを再び見ることは、ありませんでした。ところが、8月末に同じ場所周辺の草地で見慣れないセセリチョウの仲間を見つけました。それは、オオチャバネセセリでした。オオチャバネセセリは、良く見かけるイチモンジセセリと似ていて地味な茶色のセセリチョウの仲間、県のレッドデータブックで要注目種に指定され、西部地区の記録は多いものの中、中部では2000年以降の記録がほとんどあ

りません。私も、昨年静岡市葵区の麻機遊水地第三工区で初めて見てから、見たことはありませんでした。

このオオムラサキとオオチャバネセセリの詳細の記録は、静岡昆虫同好会会誌の「駿河の昆虫」にて報告しました。身近なところでも、毎年のように新しい発見や記録があるものですね。みなさんも、身近な発見や記録などありましたら、本誌「自然史しずおか」に投稿していただくか、「自然史しずおか祭」で発表されては、いかがでしょうか。



清水区西里、黒川流域で見られたオオチャバネセセリ